

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立武義高等学校		
実 施 期 間	平成25年11月7日(木)・9日(土)・14日(木)		
実 施 概 要	① 11月7日(木) 人権教育に関する講話 ② 9日(土) 美濃市産業祭 依頼公演(吹奏楽部) ③ 14日(木) 人権教育の観点に立つ校内公開LHR		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	1 人	計 1 人
	地 域 関 係 者	0 人	
実 施 状 況	①人権教育に関する講話 11月7日(木) 講師 中尾和則氏 演題『世界68ヶ国をかけめぐって』 <講師紹介> 学生時代から探検、冒険の旅を繰り返す。あるときは、上海～ローマ間シルクロード15000*。横断、あるときは、中国タクラマカン砂漠をラクダキャラバンで横断等。また、アフガニスタン難民キャンプ、パレスチナ難民キャンプ等でボランティア活動を行う。現在までにアジア、中東、アフリカ等、世界68ヶ国を訪問。2010年内閣府主催国際青年育成交流事業リトアニア団団長。現在、公益社団法人 鳥取県人権文化センター専任研究員(仕事) ○鳥取県認定「戦争語り部」 ○NPO法人ハーモニーカレッジ理事(ポニーとともに活動する青少年育成団体) ○とっとりフィルムコミッション理事等 ②第38回美濃市産業祭 依頼公演(吹奏楽部) 11月9日(土) 市内産業の紹介コーナーや実演などに加え様々なステージイベント等が企画されています。岐阜ラジオ公開生放送も行われています。姉妹都市の北海道士幌町産ジャガイモなど他市の特産品も多く販売されています。 毎年本校の吹奏楽部が公演を依頼され、今年も部員35名が参加して30分程の演奏を行いました。 ③人権教育の観点に立つLHR 11月14日(木) 本校では人権教育LHRを毎年実施していますが、本年度は校内公開としました。美濃市教育委員会との打合せにおいて、隔年での外部公開とする取り決めがあるため、来年度は外部公開のLHRを実施します。本年度の校内公開は各HR担当が中心となりテーマを決め、事前指導、当日の運営、事後指導を実施しました。HR担当以外の職員が各教室を参観しました。 1年1組「あっていい違いとあってはならない違い」2組「スクールカーストを考える」3組「私の気になる人権問題」4組「EQって何だ」5組「自分の知らない自分をみつけよう」6組「私の権利、あなたの人権」2年1組「男だから女だから」2組3組4組「あっていい違いとあってはならない違い」5組「人生観について」6組「結婚について」		

①人権教育に関する講話 中日新聞 11月9日(土) 中濃版

**人権講話を聴き 世界の現状知る**  
武義高校生

美濃市の武義高校で七日、世界六十八カ国を旅している中尾和則さん(五〇)の講話があり、全校生徒が各国の現状を学びながら人権について考えた。世界と日本の違いを知り、より広い視点で人権の大切さに気付いてもらおうと開催。中



世界を旅した中尾さんの多彩な話に耳を傾ける生徒ら＝美濃市の武義高校で

尾さんは世界で撮ったさまざまな写真やスライドで紹介し、各国のエピソードを話した。アフガニスタンの難民キャンプの話では、子どもたちが将来の夢に医者や学校の先生、エンジニアを挙げることを紹介。一大変な場所で暮らしているから、将来、人の役に立ちたいという思いが強いと語った。生徒らは日本とは異なる発展途上国の現状の話に熱心に耳を傾けていた。(織田龍穂)

②第38回美濃市産業祭 依頼公演 (吹奏楽部)

- (1) 管楽器と打楽器のためのセレブレーション
  - (2) vs. ～知覚と快楽の螺旋～ ドラマ「ガリレオ」テーマ曲
  - (3) キミがいる
  - (4) にんじやりばんばん
  - (5) Mr. インクレディブル
  - (6) 純恋歌
  - (7) 恋のマイアヒ
- 今年も大変好評でした。



③人権 LHR の感想まとめ

<1年生>

○何回か転校したことがあって、どの学校でもやっぱりスクールカーストで地味な子とか明るい子とかで分けられていて、この本を読んですごいと思った。いろんな人に読んでほしいと思った。自分でも嫌な思いをしたことがあるし、気付かないうちに嫌な思いをさせてしまうこともあると思うから、これからの生活を見直したいと思った。みんなにも同じように伝わってほしいと思った。

○QU アンケートをやってみて、自分では想像していなかった自分の意外な一面を見つけることができ少し驚いた。改めて自分の良さを再確認することができてよかったです。

<2年生>

○人はそれぞれ考えが違うということが分かった。自分が良いと思っても相手からすると嫌な気持ちになってしまうことを忘れないようにしたい。自分がする行動を客観的に見て直していかないといけないということが分かった。

○人によって同じ問題でも考え方や違って意見が分かれるのだと思いました。また、その考えとかもそれぞれに違って、これもあっていい違いなのかと思いました。この問題の中に前にもなぜだろうと考えたことがある問題があって、今日改めてみんなと考えることができ良かったと思いました。

○結婚について考えて、周りを見ても結婚相手に対する条件に結構違いがあったのでおもしろかった。4人グループで話し合ったときに、男子と女子では求める結婚相手の条件が違ったことに驚きました。クラスに中だけでも、みんなそれぞれ違った性格や趣味を持っていることをこの約半年で分かってきたので、あと半年でもっと理解できたらいいと感じました。